

NPO 法人から桜の苗木 36 本寄贈
景観づくり一助に

出水市のNPO法人「How To 21 Club」(吉井秀之理事長)が2月10日、役場町長室で桜の苗木36本を寄贈しました。

同法人は、平成20年から天ぷら油のリサイクル運動に本町内で取り組んでおり、その協力へのお礼として、これまでも約200本の桜の苗木を寄贈しています。

吉井理事長は「協力をもたらしている町民の皆さん一人ひとりにお礼を言いたい。皆さんが集まる場所へ植えていただければ」と桜の苗木を川添町長へ手渡しました。

今回寄贈された桜の苗木は、赤崎橋公園などに植樹されています。



↑苗木を渡す吉井代表(左から2人目)

2015show-1 グルメグランプリ
長島ど〜ん鯰 B-style は 3 位入賞

商店街グルメの頂点を決める2015Show-1 グルメグランプリ本大会が2月13日・14日の2日間、霧島市で開催されました。

本町から、長島町商工会青年部(大迫直人部長)が改良を重ねた「長島ど〜ん鯰 B-style」で3回目の参戦。この他、県内8団体が趣向を凝らしたグルメで参戦し、しのぎを削りました。

今年度は、鹿屋市のカンパチを使用した「カンパチ de リゾット」が頂点に輝き、「長島ど〜ん鯰」は僅差で3位となりました。大迫部長は「多くの方々のご支援、ご協力による獲得できた3位入賞です。ご声援ありがとうございました」と話しました。



↑3位入賞を果たした長島町商工会青年部

植田辰哉バレーボール教室
全日本元監督が小中高生らを指導

全日本男子バレーボールで、キャプテンとしてバルセロナ五輪に出場し、その後同監督としても活躍した植田辰哉氏を講師として招いたバレーボール教室が2月11日、長島町総合市民体育館で開催されました。

同教室は、町制施行10周年記念事業で実施されたもので、この日は、町内の小中高生約100人が参加しました。小学生の部と中学生の部の午前と午後に分けて行われた教室では、パスやブロックなど基本を中心にトップレベルの指導が行われていました。

植田氏は「常に実戦を意識して練習するように」と、約5時間にわたって練習方法などを指導。参加した鷹巣中学校2年の長岡拓海さんは「指導の中で、自分に練習が必要な部分にも気づくことができたので今後に生かしたい」と話しました。



↑植田氏の指導を真剣に聞く中学生たち